

垂水一心

編集：垂水中央PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA

PTA会長 迫田 和文
三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
コロナ禍で、なかなか思うようにいかない一年だったと推察します。
ただ、人生は、うれしいことや楽しいことと同じくらい、苦しいことや悔しいことを経験するものです。この苦しい場面を乗り越えたその先に、明るい未来があることを信じています。では、その未来をどうやって切り開いていくか。
ポイントが2つあると思います。「どうすればできるか」という前向きな思考と「支えあう心」です。
例えば、体育大会や文化祭は、例年とは少し異なるスタイルで開催されました。これは「どうすればできるか」と計画を立て、先生方や生徒の皆さん、保護者がそれぞれ役割を担い、支えあって実行されたものです。
この実体験を人生の糧として、力強く生きてほしいと願っています。
結びに、ご指導をいただきました先生方に心から感謝の誠を捧げますとともに、卒業生の皆さんのご多幸と垂水中央中学校の発展を祈念いたしまして、あいさついたします。



卒業 おめでとう

学校長 長崎 伸一
卒業おめでとうございます。
遅く育った我が子に保護者の皆様の感慨もひとしおかと存じます。
今年度ほど、先の見通しが立たないことはなかったかも知れませんが、コロナ禍の中でみんな少しずつ我慢を強いられました。
そんな中で卒業生の皆さんは、立派に過ごしてくれました。特に、「心をひとつに燃え上がった」体育大会、みなさん「一人一人の笑顔」がステージでときはなれた文化祭・合唱コンクールでの頑張りは、感動的でした。その他、生徒会活動やボランティア活動、挨拶運動やフェンス沿いの草むしり、どれもが三年生が成し遂げてくれた新しい伝統です。いろんなところで頑張りをみせてくれた卒業生に感謝とともに最大限の敬意を表します。
保護者の皆様には、観覧制限をお願いするなどこれまでにならぬことで不自由をおかけいたしました。改めてお詫びいたします。申し訳ありませんでした。今後とも垂水中央中学校へのさらなる御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

永遠のわが母校

演里忠宣 作詞
藤尾清信 作曲

- 一、桜舞う豊けき郷に
本城の清き流れに
あゝわれら三年の友と
永遠に結びてゆかん
- 二、つつじ咲き耀う丘に
風わたる五月の空に
かえらざる三年の夢を
永遠にかけてゆかん
- 三、錦江の潮の行手に
新しき歴史の道に
刻みゆく三年の学び
永遠にまもりてゆかん
- 四、火の島の熱きころは
よるこびも悲しみの日も
あゝわれら生きゆく力
永遠のわが母校へ返す

垂水一心 第33号 March 2021

みなさんも一句いかがですか

- 冬の俳句
- ◇ マスクして 感染リスク おさえよう
 - ◇ 冬の朝 光こぼれる 日和かな
 - ◇ 空風に げんこつ握る 通学路
 - ◇ 冬の朝 車の下の 猫丸く
 - ◇ 目が笑う 口いつばいの 恵方巻
 - ◇ 冬の風 このままコロナを 吹き飛ばせ
 - ◇ 節分で 願いをこめて 「コロナ外」
 - ◇ 冬季練 わが身になるよ やったひこ
 - ◇ 忘れぬ 家族の笑顔 そこにあり
 - ◇ 冬キバレ 夢にむかつて がむしやらに
 - ◇ もち焼けば 娘のおなか なる正十
 - ◇ 登校時 首元冷える 冬の朝
 - ◇ 先輩が 繋いだボールを 決めてやる!!
 - ◇ 毛糸編む 飼ひ猫暴れ あきらめる
 - ◇ 冬の朝 ふとんとカラダ 一体化

夏の俳句



- (スポーツフェイバリット 生徒)
- ◇ 夫天下 友の活躍 応援し
 - ◇ 先輩の 汗吹く姿 目に残る
 - ◇ 「ファイト」と 共に声出し 蝉時雨
 - ◇ 夏の雲 中学最後の 夢の跡
 - ◇ 学校長選

今年度 を振り返って

【1年学年委員長 肝付 真世美】
今年度の新一年生も中学生生活への大きな期待に心弾ませて入学しました。
しかし、新型コロナウイルス感染防止の為、生活様式も今までと変化し、例年行なわれていた行事や活動も縮小、自粛となりました。この今までと違う生活の中で、一人一人が毎日を大切に、学校で学べる時間の有難さを学んだ一年ではなかったかと思えます。二年生に進級しても感謝の気持ちを忘れず、それぞれの目標を見つけて頑張ってください。

【2年学年委員長 山本 千幸】
今年度を振り返り、コロナ感染防止の為、行事や部活関連の試合等が延期や中止になり、そんな厳しい状況の中、体育大会や文化祭などは、制限された部分もありましたが、開催されました。尽力して下さった先生方に感謝しております。また、保護者の方々のご協力のおかげで、この一年クラス委員を務めることができてよかったと思っています。ありがとうございました。

【3年学年委員長 森山 悠子】
私が学年委員長を引き受けてから、早いものでもうすぐ一年が過ぎようとしています。今年はコロナ禍で色々な事が制限される中、大きな事故もなく無事に過ごせた事は、校長先生をはじめ諸先生方のお力添えがあったからこそと、心より感謝申し上げます。
そして、三年生の各学級の委員長、保護者の皆様のご協力にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

研修部

部長 山下 なぎさ
昨年に続き、本年度も部長を務めさせていただきました。本年度の研修部活動は、コロナ禍という状況もあり、ほとんどの活動が出来ない中で、感染予防の徹底に力を入れました。数少ない中で活動に参加して下さった保護者の皆様ありがとうございました。
状況がどう変わるかは分からないですが、引き続き研修部をよろしくお願致します。

保健体育部

部長 本田 真由子
この一年間、皆様からご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。
コロナウイルス感染症拡大により、中止となった行事もありましたが、体育大会や長距離走大会では、多くの方のご協力があったからこそ、成功を収めることができたと思います。
本当にありがとうございました。
先生方にも各行事の準備や段取りをしていただき、感謝いたします。引き続き保健体育部をよろしくお願いたします。

PTA 専門部 より

～今年度の活動を振り返って～

部長 駿河 涼子
環境整備部の今年度活動は、二度の奉仕作業でした。
今年は、コロナ禍という事もあり、大人数を集める事に不安を抱く面もありました。皆様一人一人が感染症対策を意識して過ごして下さるのおかげで、例年通り奉仕作業を行う事ができました。普段の掃除では行き届かない場所を整備できたのではないかと思います。
お忙しい中、朝早くからご協力いただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報文化部

部長 松崎 弥生
広報文化部と言えば、PTA新聞作りです。例年一年間で三つの新聞を、一学期は三年部、二学期は一年部、三学期は二年部で作成します。PTA活動の紹介と子ども達の学校生活の様子を中心に紙面作りを行いました。今年度はコロナウイルス防止の為、行事の中止や延期が次々と決まり、学校までもが休校になるという今まで経験したことのない一年間になりました。そんな中、原稿依頼にご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。

卒業おめでとう!! 卒業に寄せて

三年一組 和田 亜衣美



私が高校三年間でがんばりたいことは、看護の基礎をしっかりと学ぶことです。私は将来なりたい看護師の勉強をする高校に行くので、先生や先輩方から看護師になるために必要なことをしっかりと身につけたいです。そして、実習など患者さんに接する時は学んだことをいかせるように細かい点まで気を使える、患者さんを安心させることができる看護師を目指したいです。

三年一組 迫田 美月

三年という時間はあっという間でした。先だと思っていた高校生活もすくそばに迫ってきています。私は第一志望の高校に合格することができました。受験に向けて、地道に問題を解き、分からない問題をそのままにしないという取り組みの結果だと思っています。今思い返すと学校生活はすべてが思い出です。お世話になった先生方本当にありがとうございました。垂水中央で過ごせた時間がとても楽しく充実していました。たくさん思い出をありがとうございました。

三年二組 脇 寛斗



中学校三年間はとても充実していて本当に楽しかったです。特に、最後の年は、生徒会長という立場で過ごした一年間でもあり、とても心に残りました。初めは、嫌しゅうがなかった全校朝会での朝の挨拶も今は懐かしくて寂しいです。生徒会役員のみんなや生徒の皆さん、先生方の協力のおかげで本当に楽しく活動することができました。垂水中央中学校で過ごした三年間は本当に最高でした。ありがとうございました。

三年二組 本田 つづみ

「ああ 闇はただ純粹で 恐れ してしまう 私が弱だけ」 私がこの言葉を座右の銘にした理由は、何事にも前を向こうと思えるからです。この言葉は辛いときや、泣きたいときに思い出すと「また頑張ろう」と思えます。私はまだ、将来の夢は決まっていませんが、この座右の銘を心に入れて、自分のなりたいたいものになろうと思います。そして、私は親がこんなにも大切に育ててくれたことに感謝しています。いつか、両親や姉がくれた大切なものを倍にして返そうと思います。

三年三組 白井 大希



私は、兄の影響で小学二年生からソフトテニスを始め、中学でもテニス部に入りました。練習は想像以上にきつく、やめたいと思うこともあったけれど、諦めず頑張りました。そのおかげで二年のとき、県総体の団体で優勝し、九州大会では三位、全国大会にも出場することができました。しかし、三年ではコロナウイルス感染防止の為にすべての大会が中止になり、悔しい気持ちで一杯でした。高校ではインターハイに出場し、成績を残し三年後にある団体に選ばれるよう練習を重ねて頑張りたいと思っています。

三年三組 小谷 希望

私は、今回の講話を聴くまでは、就職する理由なんて、皆ほとんど同じだろうと思っていました。しかし、お二人のお話を聞いて、自分の考えとは全く違ういろいろな人生展開があるんだと思いました。特に濱田さんのお話の中に「人との関係の重要性」が重要でした。僕はドラマなどで意外なできごとからまわりの人とならがる場面を見て、こんなことは現実にはないだろうと思っていました。濱田さんのお話にも似たお話があり、人とのつながりが自分の人生も変えることがあるのだともも感銘しました。最後にお二人ともこの仕事に就いて嬉しかったことは、「達成感を得た」と語り合っていました。ここは共通していて驚きました。これらのことから、きっかけはどうあれ、どんなことでも最後までしっかりとやり遂げれば、自分の人生が豊かに大きく変わるといふことを学ぶことができました。

二年一組 西村 海輝

僕の立志の言葉は「枯れ果てた場所にある雑草のように何度でも立ち上がれ」です。これには「一度決めたことは最後まであきらめない」という意味があると思っています。僕には陸上自衛官になるという夢があり、その夢を叶えるためにはたくさんの努力が必要です。路の途中で大きな壁にぶつかることもあると思います。そんな時に枯れ果てた苦しい環境で生き抜く雑草のように夢を追い続け、叶った時には人に夢を与えられるような人間になりたいです。

二年二組 中島 弘紫

二年生の始めは一つの目標に向かってがむしゃらに突き進む事ができないかと思つたので猪突猛進を立志の言葉に選びました。しかしそれから、何ヶ月かたつて自分なりに一つの事に向かつて努力する事ができるようになりました。それは、当たり前の事を当たり前にできる様になりたいたと思つたからです。そうすると友達との関係を含め学校が楽しくなりました。これからは自分の為に頑張る事を諦めずがむしゃらに突き進みます。

二年三組 増満 心美

「ああ 闇はただ純粹で 恐れ してしまう 私が弱だけ」 私がこの言葉を座右の銘にした理由は、何事にも前を向こうと思えるからです。この言葉は辛いときや、泣きたいときに思い出すと「また頑張ろう」と思えます。私はまだ、将来の夢は決まっていませんが、この座右の銘を心に入れて、自分のなりたいたいものになろうと思います。そして、私は親がこんなにも大切に育ててくれたことに感謝しています。いつか、両親や姉がくれた大切なものを倍にして返そうと思います。

二年一組担任 鬼ヶ原 建一

中学校に入学して何もかもが新鮮だった一年生。二年生に進級し、中学校生活にも慣れ、部活動や生徒会において先輩からバトンを引き継ぎました。最初は頼りなさも垣間見ましたが、段々板に付いてきました。まもなく三年生になります。二年生で自分の将来のことにについて考えました。途中で変わってもいい。変わらないうちは、一生懸命目標に向かって突き進んでほしい。今、努力できれば、目標が変わっても、きつと同じように突き進めることでしょ。

輝かしい未来に幸多からんことをお祈りしています。

立志のつどい

立志を迎えた一年生の皆さん、座右の銘を心に刻み、日々の自分の行動に生かしていますか。今の十代の時というのは、人生の土台を作る時です。苦しいこと、きついこと、大変なこともあるでしょう。しかし、そこを乗り越えて大きく成長できた時、大人になってから深く、味わい深い、豊かな人生があなたを待っています。

立志を迎えた一年生の皆さん、座右の銘を心に刻み、日々の自分の行動に生かしていますか。今の十代の時というのは、人生の土台を作る時です。苦しいこと、きついこと、大変なこともあるでしょう。しかし、そこを乗り越えて大きく成長できた時、大人になってから深く、味わい深い、豊かな人生があなたを待っています。

職業人に学ぶ



僕は、今回の講話を聴くまでは、就職する理由なんて、皆ほとんど同じだろうと思っていました。しかし、お二人のお話を聞いて、自分の考えとは全く違ういろいろな人生展開があるんだと思いました。特に濱田さんのお話の中に「人との関係の重要性」が重要でした。僕はドラマなどで意外なできごとからまわりの人とならがる場面を見て、こんなことは現実にはないだろうと思っていました。濱田さんのお話にも似たお話があり、人とのつながりが自分の人生も変えることがあるのだともも感銘しました。最後にお二人ともこの仕事に就いて嬉しかったことは、「達成感を得た」と語り合っていました。ここは共通していて驚きました。これらのことから、きっかけはどうあれ、どんなことでも最後までしっかりとやり遂げれば、自分の人生が豊かに大きく変わるといふことを学ぶことができました。



立志を迎えた一年生の皆さん、座右の銘を心に刻み、日々の自分の行動に生かしていますか。今の十代の時というのは、人生の土台を作る時です。苦しいこと、きついこと、大変なこともあるでしょう。しかし、そこを乗り越えて大きく成長できた時、大人になってから深く、味わい深い、豊かな人生があなたを待っています。



立志を迎えた一年生の皆さん、座右の銘を心に刻み、日々の自分の行動に生かしていますか。今の十代の時というのは、人生の土台を作る時です。苦しいこと、きついこと、大変なこともあるでしょう。しかし、そこを乗り越えて大きく成長できた時、大人になってから深く、味わい深い、豊かな人生があなたを待っています。

豆乳鍋 (4人分) 免疫カアップ 時短レシピ

- ・と牛肉 200g
- ・白菜 1/4カット
- ・しめじ 1パック
- ・深ネギ 1本
- ・出汁 200cc
- ・豆乳 160cc
- ・チーズ

【栄養教諭：池畑三希】

① 白菜は2cm幅のザク切り、しめじは石づきをとって、バラバラにします。

② 鍋に出汁、と牛肉、①の野菜の順に入れ、フタをして中火で煮ます。

③ 野菜がしんなりしたら豆乳と斜め切りにした深ネギを入れます。

④ 仕上げにチーズを入れ、チーズが溶けたら出来上がりです。

※うどんと卵を入れるとカルポナーラ風、ご飯を入れるとリゾット風になります。

※出汁は和風・洋風・中華を好みで使ってください。

豆乳にはお肌の調子を整え、免疫力を上げる働きがあります。また、記憶力を上げる働きもあります。